

戦気 NO-9

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです



10月13日 後楽園ホール
 ウェルター級・6R

平井良維・TKO勝利!



6ラウンド 平井の右フックが決まる

10月13日、後楽園ホールでOPBF東洋太平洋スーパー・ミドル級王座統一戦が戦われた。前座の第3、第4試合は女子選手が出場し文字通り熱い女の戦いだった。次の第5試合にウェルター級(141ポンド契約)でA級ボクサー昇格をかけて平井良維が登場した。対戦相手はファイター阿部ひろし選手(ワールド日立ジム)で6戦4勝(3KO)2敗。

平井が後楽園ホールに登場するのは6ヶ月ぶりである。平井は持ち前のアウトボクシングから戦い方を変え、ショートレンジの接近戦を意識的に採り入れながら戦う。対戦相手の阿部選手は頭を低くしながら前進してくる。頭から入り込む阿部選手に対して度々注意していたレフェリーは第3、第4ラウンドで減点1を宣告する。

試合は平井の左ボディ、右フックがタイミングよくヒットし優勢のうちに進行し、6ラウンドに右フックから連打を浴びせている中で1分54秒でレフリーストップとなった。

結局、平井が6ラウンドTKO勝利し7月の福本に続き三谷ジム3人目のA級ボクサーとなった。A級ボクサーになったが大変なのはこれからだ。強豪ひしめくスーパーライト級やウェルター級は熾烈な戦いの連続となるだろう。

平井が掲げた目標は、「A級ボクサーになる」だったが、A級ボクサーになった現在、新たな目標を掲げなければならない。22歳の平井にとって時間はまだ十分にある。さあ、新たな目標を掲げ、その実現に向けて前進していこう。

平井選手の言葉

今日は接近戦を意識的に取り入れて戦ったが試合途中で相手の出方を見てしまい間が空いてしまった。今後、これを克服しなければならない。今年の目標であったA級に昇格できたのでこれからも上を目指して貪欲に行きたい。



シリーズ: 選手紹介

山本直平(31歳)

生年月日: 1977年6月25日

出身地: 千葉県千葉市出身

階級: スーパーライト級

戦歴: 7戦: 5勝(3KO)2敗

2005年03月、プロデビュー初勝利(3RKO)

好きな言葉: 七転び八起き

尊敬する人: 自分に負けない心を持つ人

好きな女性のタイプ: 奥さんみたいな人……

自分の目標: 全日本新人王になること!



ごんごちゃんを見た!!

「目の色を変える」という言葉があります。集中力がみなぎり、研ぎ澄まされた精神は一点に集中し、目は獲物を狙う鷹の目のように鋭く、闘争心が身体全体からほとばしりです。プロ選手は戦闘モードになればなるほど目の色を変えなければいけない。目の色を変え、自分の持てる力の限り戦うことを通してこそ、その戦いを見ている人たちの心を揺さぶるのです。ジム生のみんな、そういう熱い戦いをやろう!

三谷会長のコメント

ジム3人目のA級ボクサーの誕生だ。今日の平井はパンチも切れて良く戦っていたがA級ボクサーとして勝ち抜いていくには試合途中で相手の出方に合わせて止まっていたらダメだ。平井はポイントを取っては追いつかれる、ポイントを取っては追いつかれるというふうに関手に合わせて途中で止まってしまう。僕はこれは平井の弱さだと思うが、これを変えなければA級の戦いは厳しい。もっと一気に吹切れた戦い方をすることだ。あと2~3戦したらランカーとの試合が出来るだろう。課題を克服して頑張れ!!

プロテストに高校生2名が合格

10月9日、後楽園ホールのC級プロテストを受けた、林涼樹、小林慶行、小椿康晃の3名は全員合格した。林涼樹、小林慶行は『戦気』5号で「がんばれ高校生」の「関東大会出場・準優勝」で紹介した佐倉西高校の生徒である。今回の東京地区C級のプロテストは27名受験し合格者は17名。合格率は63%だった。

プロテストは満17歳になると受験資格が得られ、アマチュア戦績の有無等によりB級、C級に受験できる。今回の3名はいずれもC級(4回戦)資格のプロテストであった。合格した林涼樹、小林慶行、小椿康晃の3選手はこれから三谷会長の指導のもと練習を積み、減量に耐え、心身を鍛えプロ選手として自分自身が納得する段階まで進んで行って欲しい。プロ選手として忘れてならないのは、どのような強豪選手に対しても怯まずに毅然として「戦う勇氣」だ。勇氣が消滅した時、ボクサーには死が訪れリングから去らなければならない。がんばれ若造!!



スケジュール

- 11月02日 鬼ヶ島竜、斎藤司、玄間晃裕、山本直平、東日本新人王決勝戦
- 11月10日 大塚メロン賞光: 8戦、福本雄基: 9戦
- 11月24日 第7回 三谷大和スポーツジム スパリング大会

編集後記

戦い終わったリング上でお互いが相手を讃え、いたわり、相手のセコンド陣にお礼をする姿を目にします。スポーツを通してルールとスポーツマンシップを学ぶことで自然に出てくる感謝の気持ちです。見ていて気持ちのいい光景です。戦うものに栄光あれ。